

- (1) 自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとも
 (2) 自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を
 (3) 様々な種類の文章を読み内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみものの見

月	時	教材名	学 習 内 容 ・ 指 導 事 項
7	4	朝焼けの中で	◎文脈の中における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む。 ◎文章を読んで筆者の自然や人間などに対する思いを捉え、自分の意見をもつ。
	2		
	5	握手	◎作品に用いられた言葉やエピソードから、表現の工夫、場面や登場人物の設定のしかたなどを捉え、作品を理解す ◎作品に描かれた登場人物の生き方や考え方から、人間や社会に対する自分の意見を持ち、作品を評価する。
	5	批評文を書く	◎社会生活の中から関心のある事柄を決め、取材を重ねて考えを深める。 ◎論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書き、書いた文章を読み合ってももの見方を深める。
	1	言葉 1	◎和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。
	2	書写	身の回りにある文字を調べる。
	1	評価しながら聞く	自分の考えと比較し評価しながら相手の考えを聞き、自分のものの見方や考え方、表現のしかたに役立てる。
	4	月の期限を探る	◎文脈の中における語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理の展開のしかたを捉えて評価する。
	1	推敲して文章を磨こう	◎書いた文章を読み返し、文章全体を整える。
	3	スピーチ	◎聞き手の求める情報を的確に捉え、自分の経験や知識を整理し、用いる語句を工夫して話す。 ◎聞き手の反応に応じて説明や話し方を工夫し、聞き取った内容や表現のしかたを自分の表現に生かす。
9	1	漢字 1	◎熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読んだり使ったりする。
	2	書写	効果的に文字を書く 1
	4	俳句の可能性	◎筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。(説(1)ア・ウ) (伝国(1)イ(4)) ◎感動の中心が効果的に伝わるように、語句や語順に注意して俳句を作る。
	2	言葉を使おう	◎場の状況や相手に応じて言葉の選び方や伝え方を考え、互いの考えが生かせるようにする。
	1	文法	◎文の成分の順序や構成など、文法についての理解を深め、日常生活や学校生活の中での表現や読解に生かす。
	10	読書生活をデザインしよう	◎目的をもって本を読み、表現上の特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定、表現のしかたなどから文章を評価し、自分の考えを広げたり深めたりする。
10	5		
	2	挨拶	◎作者のものの見方や考え方が表されている表現や使われている語句の効果に着目し、人間や社会について考える。 ◎詩に表現されている内容と、現実の世界の在り方とを対応させながら読む。

	6	故郷	◎作品を通して人間と社会との関わりについて考え、自分の意見をもつ。 ◎情景や人物を描写する語句や表現を評価しながら、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。
	1	話し合いを効果的に進めよう	◎資料などを活用して説得力のある話をし、話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。
	1	言葉2 ことわざ 慣用句	◎慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。
	5	修学旅行記	◎文章の形態を選択して適切な構成を工夫し、書いた文章を読み返して文章全体を整える。
	3	古今和歌集 仮名序	◎比喩表現などの表現上の工夫に注意しながら「古今和歌集 仮名序」の冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。
	3	君待つと	◎歴史的な背景に注意して古典の和歌を読み、昔の人の心情や情景を読み味わうとともに、和歌に歌われている人間や自然などについて、自分の考えをもつ。 ◎語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意しながら、それぞれの和歌を読み味わう。
	4	おくの細道	◎歴史的背景を想像しながら「おくのほそ道」を読み、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。
11	2	お薦めの古典を贈ろう	◎古典に取材して自分の考えを深め、古典の一節を引用しながら、文章の形態や構成、表現などを工夫して文章を書く。
	3	新聞の社説を比較する	◎二つの社説を読み比べ、論理の展開のしかたを捉えて内容の理解に役立てるとともに、構成や展開、表現のしかたについて評価する ◎社説から学んだことを生かして、論理の展開を工夫し、資料を引用して意見を主張する文章を書く。
	2	書写	効果的に文字を書く
	5	社会への提案をまとめる	◎社会生活の中から話題を決め、説得力のある話をし、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする。 ◎話し合いが効果的に展開するように進行のしかたや言葉遣いを工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。
	2	文法への扉2	◎2年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。
	5	ネット時代のコベルニクス	◎情報化社会の可能性と困難について考え、自分の意見をもつ ◎抽象的な語句に注意して論理の展開のしかたを捉え、比喩の役割など表現のしかたについて評価して読む。
	1	漢字2	◎漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。
	6	3年間の歩みを編集しよう	◎3年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、ポートフォリオの構成を工夫し、作品を評価し合うことで自分の表現に役立てたり、ものの見方や考え方を深めたりする。 ◎ポートフォリオを用いて、3年間の学習について簡潔に発表するとともに、内容や表現について評価し合い、自分の表現に役立てたりものの見方や考え方を深めたりする。
	4	書写	効果的に文字を書く
1	2	学びて時にこれを読む	◎漢文の言い回しに注意して、文脈における語句の意味を捉えて読み、人間・社会・自然などについて考え自分の意見をもつ。
2	2	アラスカとの出会い	◎これからの自分について考えるために、「アラスカとの出会い」を読んで人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。
	2	暖かいスープ	◎国際社会を生きるために何が必要かを考えるために「温かいスープ」を読み、これからの自分の生き方について意見をもつ。

3	2	聞くということ	◎文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して「聴くということ」を読み、これからの自分の生き方について意見をもつ。
	2	わたしを束ねないで	◎詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。
	1	漢字③	◎2年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のだいたいを読み、適切に使い慣れる。

105

【評価の観点・方法】

1. 国語への関心・意欲・態度・・・課題への取り組み方、授業への参加の姿勢、提出物などで
2. 話す・聞く能力・・・目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり、話の内容を的確にき
3. 書く能力・・・作文・ノートを通して、読みやすく、わかりやすい文章を書いてい
4. 読む能力・・・様々な文章を読み、その構成・展開をとらえているかで評価します。
5. 言語についての知識・理解・技能・・・文法・漢字テストなどを中心に評価します。

書写では文字を正しく整えて丁寧に書くことができるかで評価します。

に、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。

育てる。

し方や考え方を広げようとする態度を育てる。

評	価
関	人間，自然などについて自分の考えをもとうとしている。
読	表現上の工夫や筆者の思いを捉え，それに対する自分の意見をまとめている。
関	作品を読み，展開や表現のしかたについて評価して自分の考えを深めようとしている。
言	作品に使われている言葉や表現に着目して読んでいる。
関	作品を読み，自分の考えを深めようとしている。
読	作品の表現や展開のしかた，内容について，自分なりに観点を決めて批評している。
言	作品に使われている言葉や表現に着目して読んでいる。
関	社会生活の中の事柄について，自分の意見を明確にして批評文を書くようとしている。
書	分析のための観点を示し，判断や批評の根拠を明確にし，資料適切に引用して，説得力のある構成で批評文を書いている。
書	達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し，自分の表現に役立てている。
言	自分の意見を効果的に表現するために，和語・漢語・外来語を適切に使い分けている。
関	和語・漢語・外来語の使い分けを理解しようとしている。
言	和語・漢語・外来語のそれぞれを理解し，相手や場面に応じて適切に使い分けている。
関	適切な分析観点をもとに取材を繰り返して多角的に判断し，根拠を明らかにして説得力のある構成で批評文を書いている。
言	自分の意見を効果的に表現するために，和語・漢語・外来語を適切に使い分けている。
関	身の回りにある文字に関心を持つ。
関	相手の考えを自分の考えと比べながら聞き取り，自分の表現に役立てようとしている。
関	聞き取りマップ」にメモを取り，自分の考えを整理している。
言	相手や場面に応じた敬語など，言葉の使い方に注意して聞いている。
関	進んで文章を読み，論理の展開や内容を理解しようとしている。
読	図と本文との対応を確かめながら筆者の論理展開を読み取り，そこに表れる筆者の科学的なものの見方や研究方法について自分の考えをもっている。
言	論理展開を読み取るうえで重要な漢語を指摘し，意味を調べている。
言	問題に取り組み，漢字をおおむね正しく読んだり選んだりしている。
関	文章を推敲してよりよいものになようとしている。
書	示された観点に沿って文章を見直し，文章全体を整えている。
言	漢字や語句を正しく使っている。
関	話題に沿って相手にわかりやすく話をしようとしている。
関	手の求める情報を的確に捉え，相手の反応や表情を見ながら，自分の経験や知識を整理して答えている。
言	相手や場面に応じた敬語など，言葉の使い方に注意して話している。
関	熟語の読み方を理解しようとしている。
言	熟語の成り立ちや，音読み・訓読みを確かめながら読んでいる。また，示された熟語以外の例を挙げ，理解を深めている。
関	ノート作りができる。
関	俳句の形式に興味をもち，表現上の特徴を生かして俳句を作ろうとしている。
読	俳句の約束事を理解し，俳句に込められた作者の思いや情景を読み味わっている。
書	語順や表現のしかたに注意して，自分の思いや感動を俳句に表現している。
言	語句の使い方に注意している。
関	自分の考えを相手にわかりやすく伝えようとしている。
関	の状況や相手の様子に応じることの具体的な観点を理解し，工夫して話している。
言	世代や地域による言葉の違いなどに注意しながら言葉や敬語を適切に使っている。
関	既存の文法知識を振り返って話し合おうとしている。
言	文法的な観点から誤解の生じた原因を理解し，練習問題をおおむね正確に解いている。
関	分の読書生活に関心を持ち，読書について話合ったり本の幅を広げたりしようとしている。
読	表現や場面・人物設定などに着目して読み，自分のものの見方や考え方を広げるとともに，読書生活について考えている。
言	B語感を磨き語彙を豊かにしている。
関	詩を読み，作者のものの見方や考え方について自分なりに考えようとしている。
読	表現や語句の効果に着目し，作者の思いについて，現実の世界の在り方と対応させながら自分の言葉で説明している。表現や語句の効果に着目し，現実の世界の在り方と対応させながら，人間や社会について自分の言葉で説明している。

言 語感を磨き語彙を豊かにしている。 関 作品に描かれている人間と社会について考えようとしている。	
読 情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取っている。 言 作品に出てくる漢語などから語感を磨き、語彙を豊かにしている。	
関 話し合いの事前準備などについて考えようとしている。 聞 話し合いが効果的に展開するように、提案の順番や事前資料などを考えて進行を工夫している。 言 話し合いに適した言葉遣いを意識して発言している。	
関 慣用句・ことわざ・故事成語について理解しようとしている 言 慣用句・ことわざ・故事成語の意味を調べて、適切に使っている。	
関 自分の書く文章の形態を選び、適切な構成を工夫しようとしている	
書 内容に合った文章の形態を選び、文章全体を整えて旅行記にまとめ、構成や表現などを評価し合っている。 言 選んだ文章形態にふさわしい語句や表現などを意識して使っている。 関 「仮名序」冒頭部分の内容に興味をもち、進んで音読しようとしている。 読 古人が「和歌」をどのようなものとして捉えていたかを理解している。 言 古文のリズムを意識しながら音読している。	
関 れぞれの和歌集に興味をもち、和歌に表れた古人の心情や情景について現代語訳をもとに想像しようとしている。	
読 和歌の表現技法や語句の使い方に気づいて読み、感想をもっている。 言 現代語訳をもとに和歌を読んでいる。 関 俳句に込められた芭蕉の思いを考えようとしている。 読 B 作品の表現や文体の特徴に注意しながら読んでいる。	
関 引用する作品を既習の古典教材から探そうとしている。 書 古典作品から言葉を引用して、文章の形態を選び、適切な構成を工夫して書いている。 言 古典の一節を引用して文章を書いている。 関 二つの社説を読み、論理の展開の違いに目を向けようとしている。	
読 二つの社説を読み比べ、構成や展開、表現のしかたなどについて自分なりに評価している。 書 B 社説をもとにテーマを決め、構成や引用する資料を工夫して意見文を書いている。 言 B 新聞で用いられている言葉の特徴に気づいている。	
絵はがきや電子メールを作れる。 関 自分が取り組みたい課題を考えようとしている。	
聞 会生活の中から話題を決めて資料などを活用して話し、聞き取ったことから、自分のものの見方や考えを深めている。 関 課題解決に向けて、互いの考えを生かし合っている。 言 B 話し合いという場を意識し、適切な言葉遣いをしている。	
関 三年間の文法学習を振り返り、苦手な箇所を克服しようとしている。 言 問題のだいたいを正確に理解している。 関 本やインターネットの特徴を知り、可能性や困難について考えようとしている。 読 筆者の主張を捉え、情報化社会に対する自分の意見をもっている	
読 抽象的な語句や比喩の意味、論理の展開のしかたを捉え、本とインターネットの違いを説明している。 言 文章中の抽象的な語句に興味をもち、意味や類義語などを調べている 関 漢字を組み合わせてできる造語に興味をもとうとしている。 言 漢字の造語力について理解している。	
関 B 中学校三年間の学習を振り返り、自分の学びのポートフォリオを作ろうとしている。	
書 B 三年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、ポートフォリオの構成を工夫している	
関 ートフォリオの内容を生かして発表し、評価し合って自分の表現に役立てたりものの見方や考え方を深めたりしている。 言 これまでに学んだことを生かし、割り付けや表現を工夫してポートフォリオを編んでいる。 ポスターなどに表現できる。	
関 ささまざまな作品を読んで、そこに込められたメッセージを受け止めようとしている。 言 文章を読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。 読 脚注を参考に語句の意味を捉えて、漢文の言い回しに注意して読み、孔子の考え方をだいたい理解している 言 「論語」を読んで、内容に親しんでいる。 読 筆者の人生観を読み取り、自分の生き方について考えている。	
読 れからの国際社会を生きるために必要なことを考えるために「温かいスープ」を読み、これからの自分の生き方について意見をもっている	

読	筆者は「聴く」ということをどう捉えているのか、その根拠とともに読み取っている
聴	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考えて、自分の意見をもっている。
関	問題に取り組み、漢字への理解を深めようとしている。
言	漢字の読み方や意味を確かめながら問題に取り組み、おおむね理解している。

評価します。

：きとっているかで評価します。

るか評価します。

,